

## 審判上の確認事項

審判委員長

- 1 本大会は、2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「6人制ルールの取り扱い」についてを適用する。
- 2 タイムアウトの要求は、監督が該当するハンドシグナルを示し要求しなければならない。  
また、大会本部が認めた特別な理由で監督不在の場合は、ゲームキャプテンのみタイムアウトの要求ができる。  
なお、監督はラリー中、チームベンチの記録席に最も近い位置に座る。

【但し、準決勝・決勝のみ監督は、試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、ラリー中であっても立ちながら歩きながらでも指示を出すことができる。】

- 3 選手交代は、選手交代ゾーンにプレーする準備のできた交代選手が入り、セカンドレフェリーのホイッスルにより許可される。（2組以上の選手交代を同時にしようとするときは、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。）
- 4 リベロプレーヤーについて
  - ① リベロプレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
  - ② リベロプレーヤーが、サービス許可の吹笛後に交代することは拒否されないが、ラリー終了後、口頭で注意される。同一試合中に繰り返した場合は、遅延の制裁の対象となる。
  - ③ リベロプレーヤーがジャケットを着用する場合は、公式練習終了後、整列の際に着用する。

### 5 選手・スタッフの不法な行為について

（ステージ1：口頭警告、ステージ2：イエローカード／ペナルティ：レッドカード／退場／失格）

- ① ファーストレフェリーが、最終判定を出した後にも、レフェリーに不満を示す態度や言葉を発した場合。
- ② 監督が、セカンドレフェリーやスコアラーに説明を求めたり、長引かせるような話しかけをした場合。
- ③ 無作法な行為：よいマナーや道徳の原則に反した行為。
- ④ 侮辱的な行為：中傷的、または侮辱するような言葉やジェスチャー、軽蔑を表す行為。
- ⑤ 攻撃的な行為：身体的攻撃、または攻撃的・威嚇的な行為。
- ⑥ あらゆる暴言・体罰に該当する行為。

※審判団や相手チームに対してのみではなく、自チーム内での上記行為も罰則の対象となる。

※ファーストレフェリーの判定に対する質問は、ゲームキャプテンのみ受け入れられる。

その内容については、ルールの取り扱い等に関する質問のみとする。抗議や意見を述べたり、クレームについては拒否し、場合によっては警告または罰則を適用する。

## 6 コートワイピングについて

- ① ゲーム中は、コート内の6人がワイピングタオルを持ち、拭くことを原則とする。  
(チームでワイピングタオルの準備をしておくこと。)
- ② タイムアウト、各セット間は、各チームでモップをかけてもよい。
- ③ ゲーム中については、審判の判断でモップを入れること。  
(チームの選手・スタッフの判断で、モップを入れない。)

## 7 チームのハドル（円陣）について

セット開始前のチームのハドル（円陣）は、ポジションの確認前でも後でも認める。  
但し、最大7名とする。